

佐伯市の家庭ごみに関するアンケート(第2回)調査結果について

○アンケートの趣旨と概要

循環型社会の構築を目指し、ごみ減量化・適正処理の基本方針を定める「第2次佐伯市ごみ処理基本計画(令和6年度～)の策定を進めるにあたり、第2回目の家庭ごみに関するアンケート調査を実施した。

○実施期間 令和5年 3 月 27 日(月)から4月30日(日)

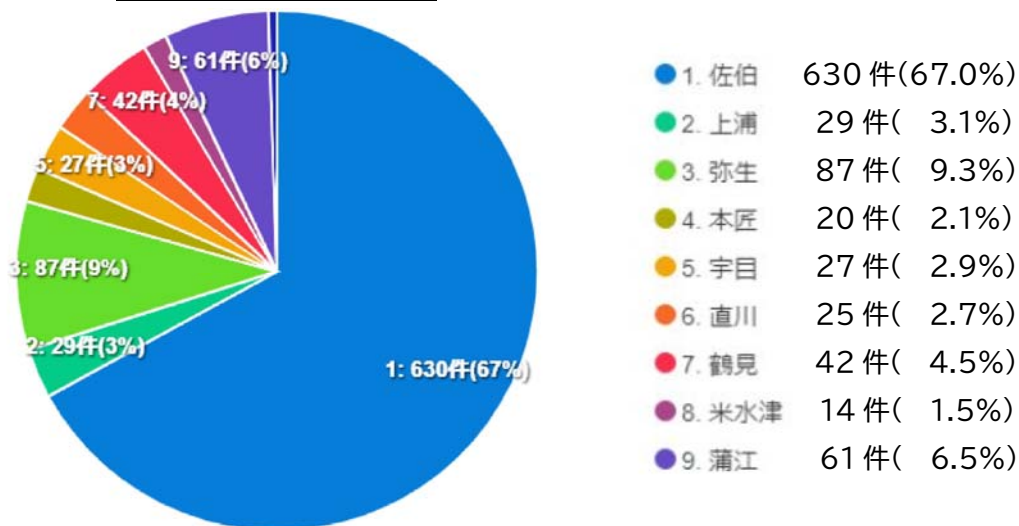
○回 答 数 940 件〔①郵送:502件(回収率 50.2%)、②WEB:421 件、③窓口回収:17 件〕

○質問と回答状況

Q1. 回答者に関する情報

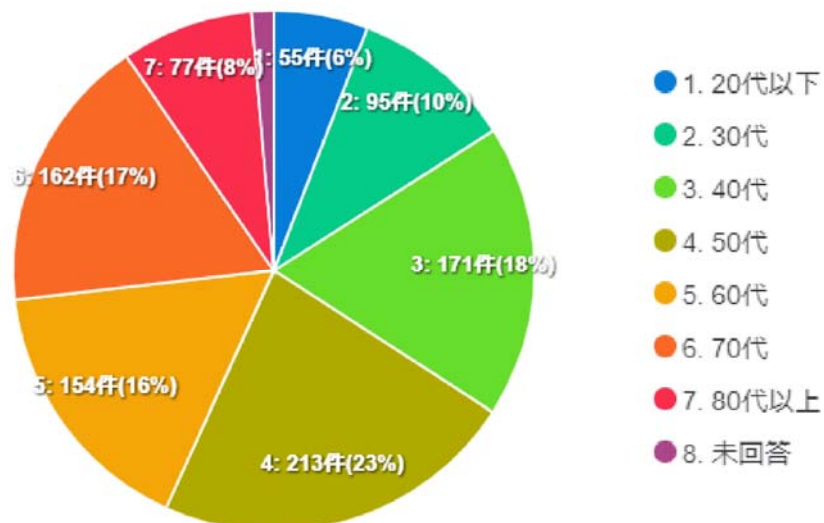
[1-1 居住エリア]

【回答状況】回答者の最も多い地域は、佐伯地域である。



[1-2 年代]

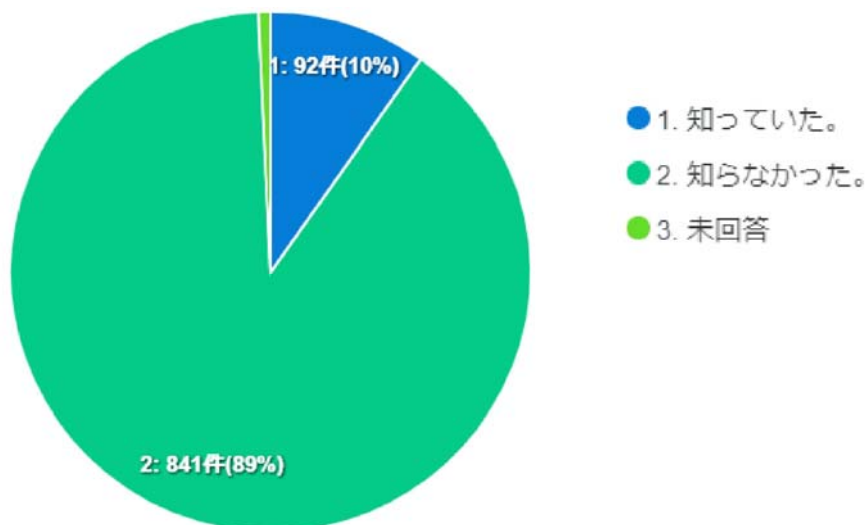
【回答状況】「50 代」が 23%、以下「40 代」18%、「70 代」17%、「60 代」16%の順である。



Q2. ごみ処理事業の財源

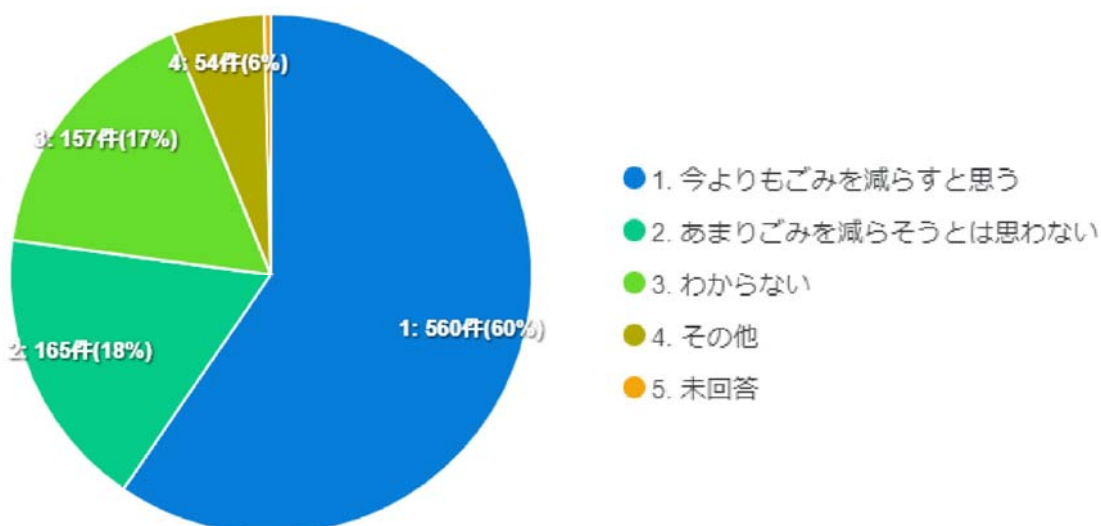
[2-1 人件費以外で年間約14億円の処理経費がかかっていることを知っていましたか？]

【回答状況】「知らなかった」が89%で大多数を占めている。



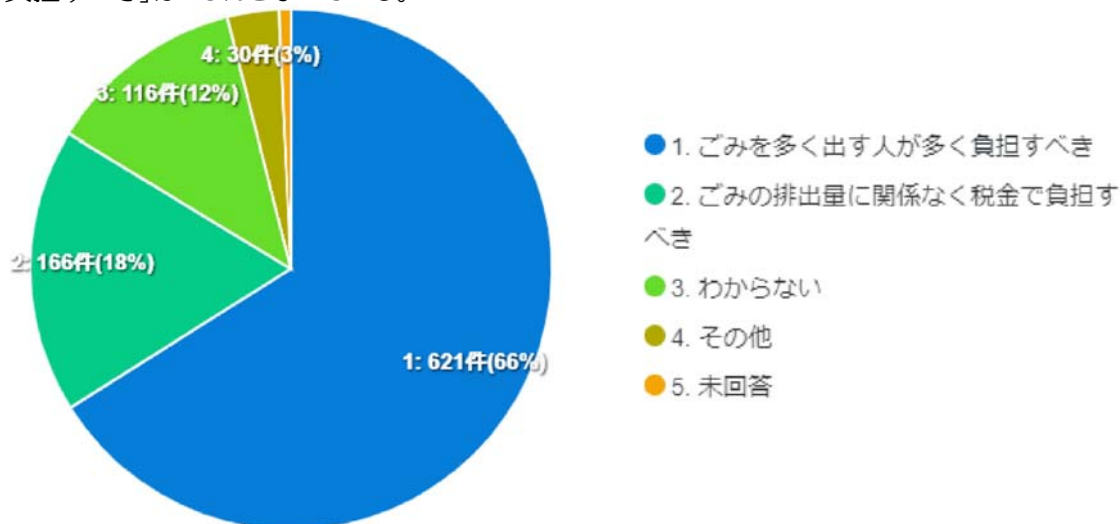
[2-2 手数料が値上がりすることになった場合、あなたはごみを減らそうと思いますか？]

【回答状況】「今よりもごみを減らそうと思う」が60%で多数を占めている。



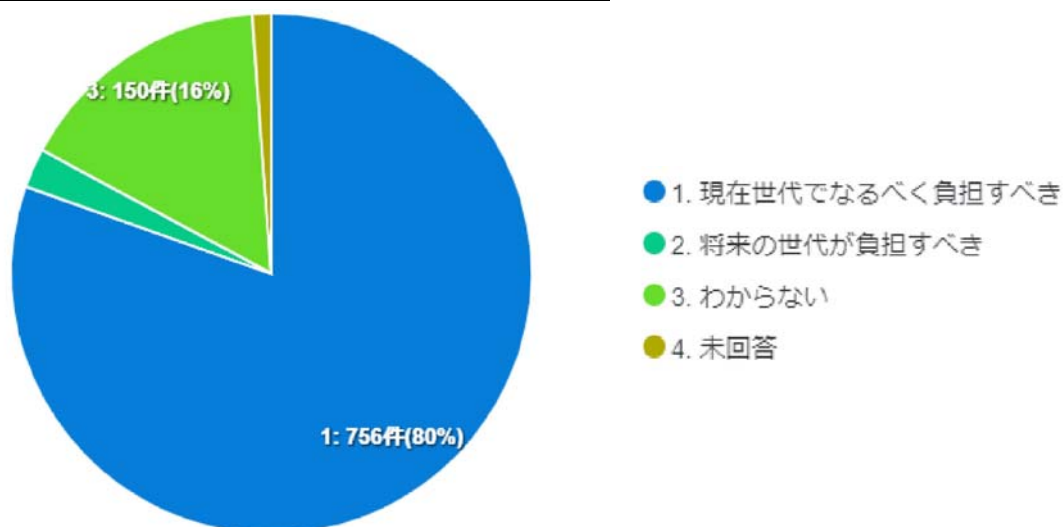
[2-3 住民負担の考え方について、あなたの考えに近いのはどれですか？]

【回答状況】「ごみを多く出す人が多く負担すべき」が66%と多数を占めており、「排出量に関係なく税金で負担すべき」は18%となっている。



[2-4 「現在の処理費用はできる限り現在世代が負担すべき」という考えがありますが、あなたはどちらの考えが近いですか？]

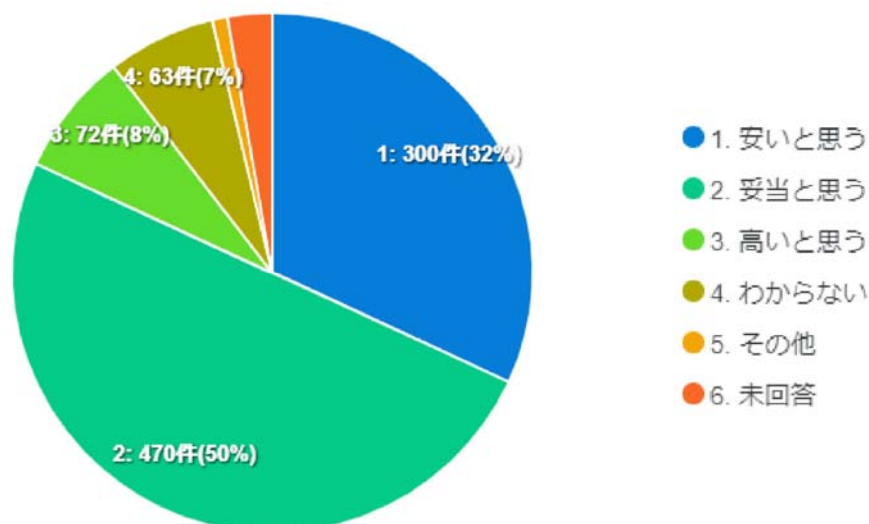
【回答状況】「現在世代でなるべく負担すべき」が80%で大多数を占めている。



Q3. 指定ごみ袋について

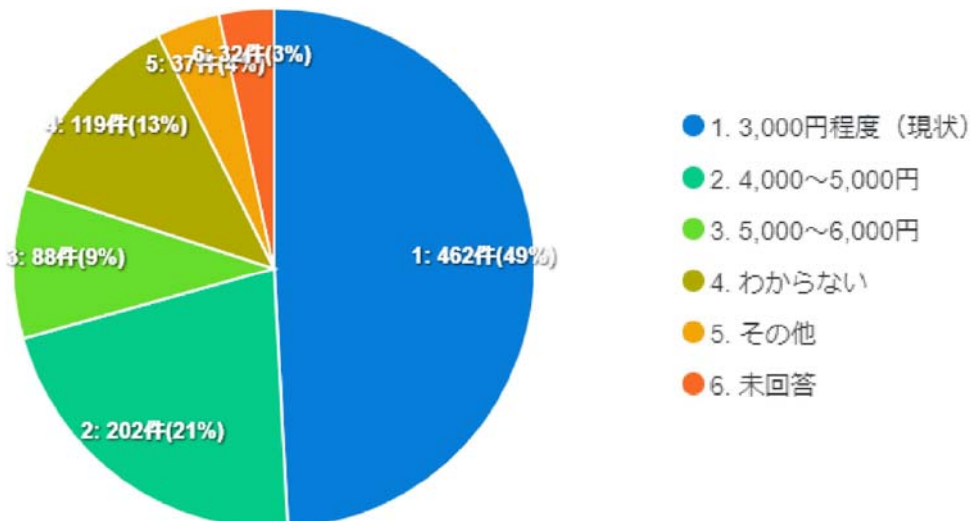
[3-1 収集サービスとして、年間約 3,000 円の自己負担をどう思いますか？]

【回答状況】「妥当と思う」が50%で最多となり、以下「安いと思う」32%、「高いと思う」8%となっている。



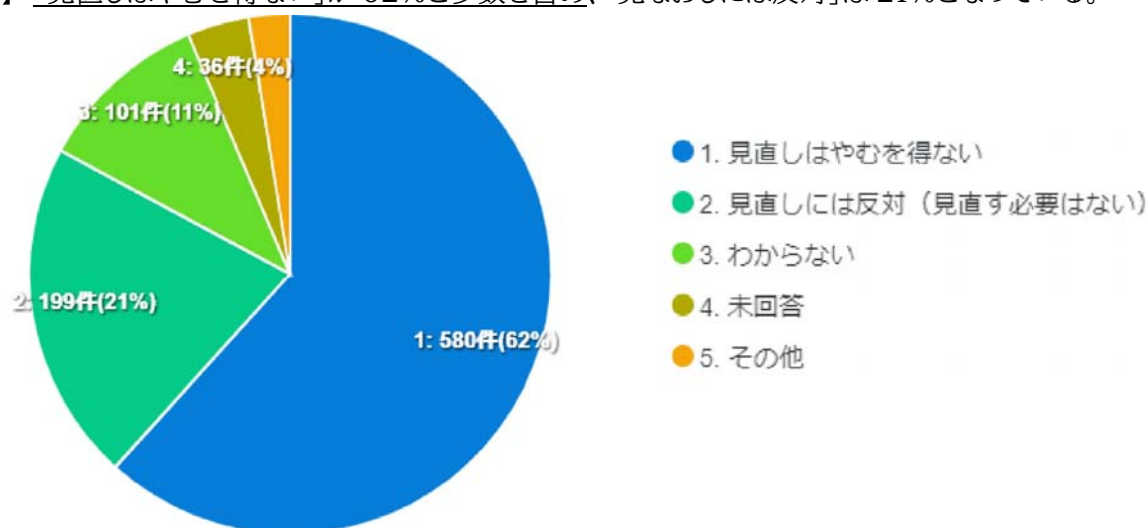
[3-2 ごみを出す人の自己負担額は、年間でどれくらい負担すべきと思いますか？]

【回答状況】「3,000 円程度」が49%で最多となり、以下「4,000～5,000 円」が21%、「5,000～6,000 円」が9%となっている。



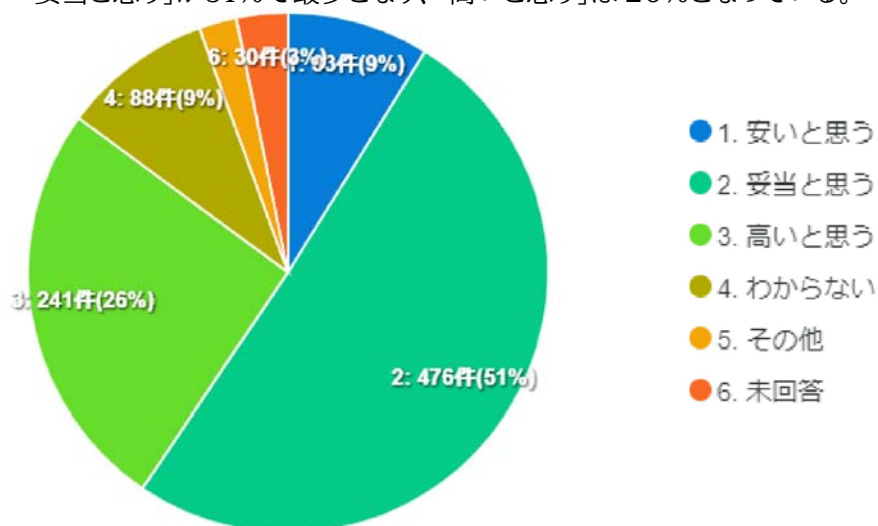
[3-3 見直し案〔大袋(45L)45円、中袋(30L)袋30円、小袋(15L)15円〕をどう思いますか？]

【回答状況】「見直しはやむを得ない」が62%と多数を占め、「見なおしには反対」は21%となっている。



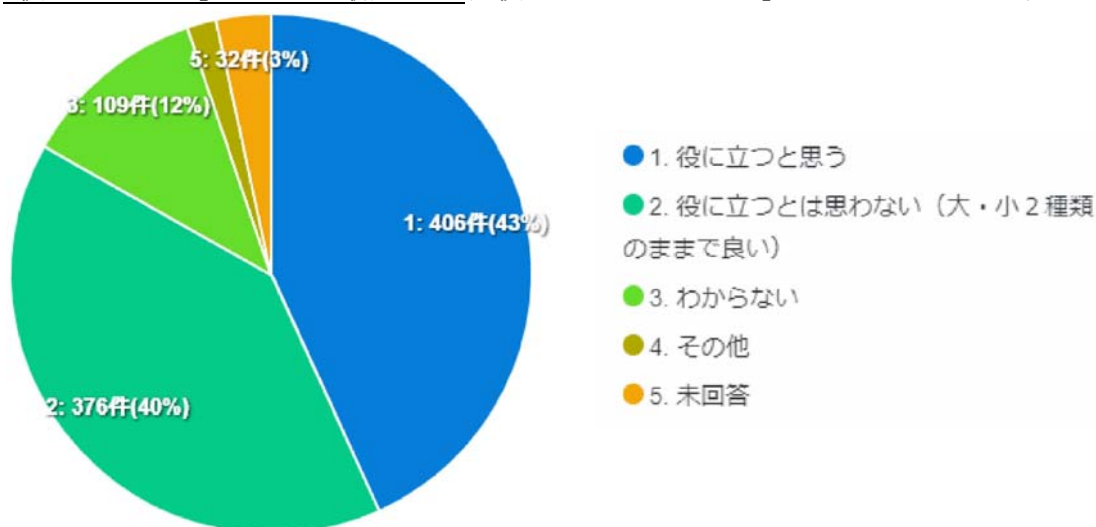
[3-4 見直し案の場合、年間1,560円の自己負担が増えると試算されますが、どう思いますか？]

【回答状況】「妥当と思う」が51%で最多となり、「高いと思う」は26%となっている。



[3-5 中サイズ(約30L)の袋を検討中ですが、市民ニーズやごみの減量等に役立つと思いますか？]

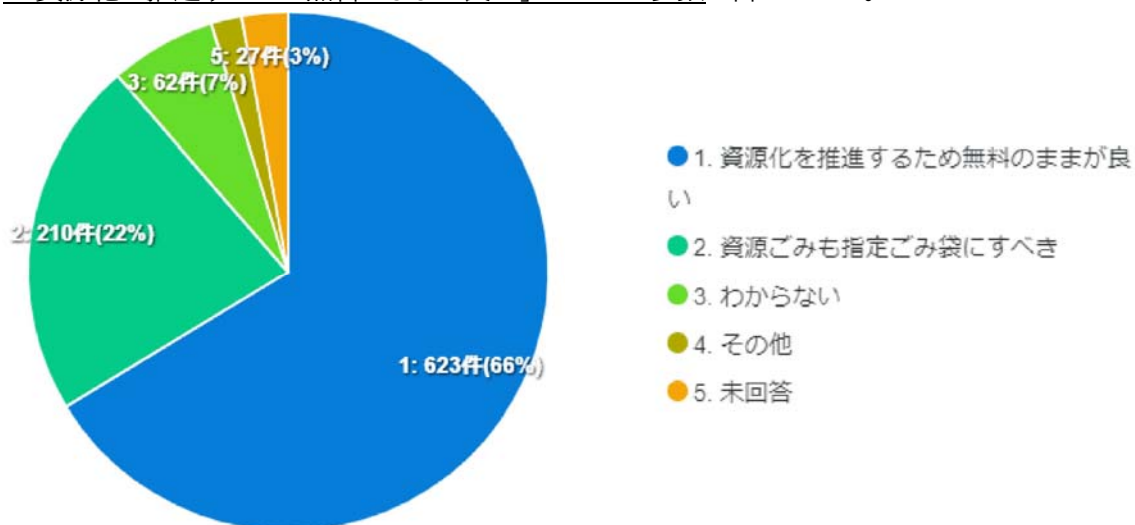
【回答状況】「役に立つと思う」が43%で最多となり、「役に立つとは思わない」は40%となっている。



Q4. プラスチックの分別と再資源化

[4-1 県内では7自治体がペットボトルの有料指定ごみ袋を導入していますが、資源ごみ用の指定袋についてどう思いますか？]

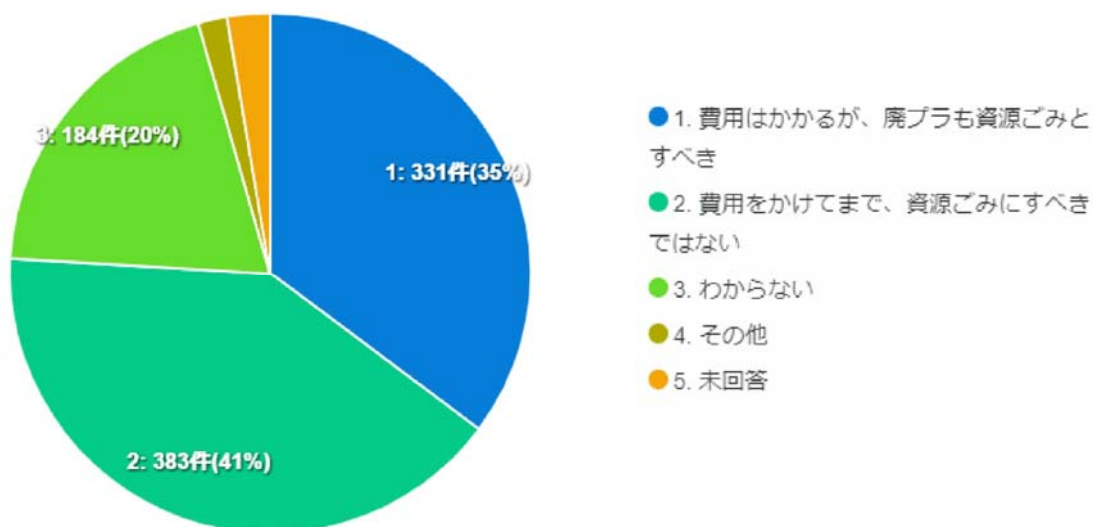
【回答状況】「資源化を推進するため無料のままが良い」が66%と多数を占めている。



[4-2 ペットボトル以外の廃プラスチックについて、県内では7自治体が資源収集しています。

廃プラスチックを資源化するには、収集やリサイクルの費用が必要ですが、どう思いますか？]

【回答状況】「資源ごみにすべきではない」が41%、「資源ごみとすべき」は35%となっている。



[4-3 廃プラスチックの分別には、分別・乾燥・保管などが必要となりますが、どう思いますか？]

【回答状況】「手間がかかるので分別は難しい」が53%で最多となり、「資源ごみとして分別収集すべき」は36%となっている。

